

岩内町総合振興計画策定に係る
町民ワークショップ報告書

令和 2 年 1 1 月

岩内町経営企画部

町民ワークショップについて

1 目 的

岩内町総合振興計画策定にあたり、10年先も暮らし続けたい、住み続けたいと思えるまちの姿（目標）を描くため、行政と町民の対話の場を設け、意見交換を行うことにより、計画への反映に向けた町民の意見の収集や、まちづくりに対する意識付けを目的とします。

2 対 象

4つの基本方針に沿った活動方針の団体を対象とし、全14回のワークショップを開催しました。

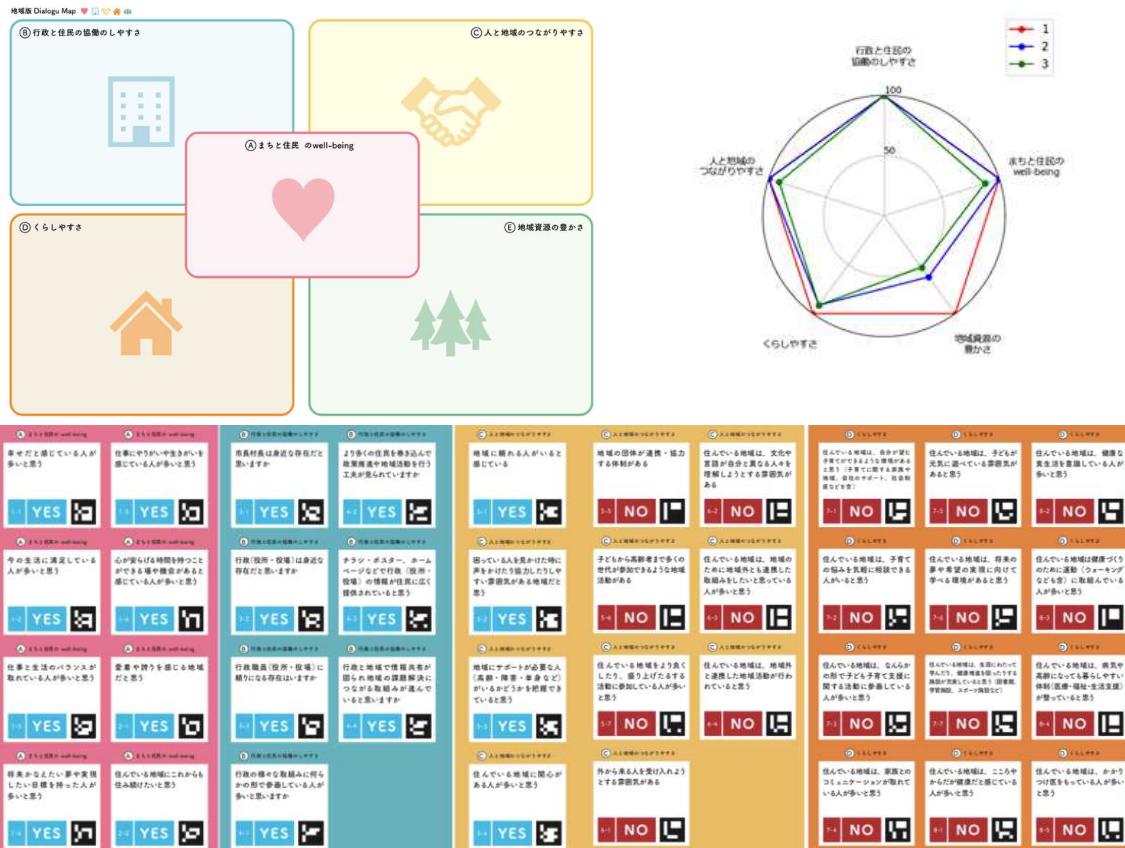
なお、新型コロナウイルスの感染防止の観点と、ワークショップ形式での実施となることから、5～10人程度の団体で実施しました。

NO	開催日	対象	場所	参加人数
1～4	R2.8.12～ 8.28	岩内町役場職員	岩内町役場	21名
5	R2.9.3	青年会議所（JC）	岩内町役場	5名
6	R2.9.17	ブックスタートをサポートする会	文化センター	4名
7	R2.9.23	広域観光	岩内町役場	5名
8	R2.9.24	岩内高校 普通科	岩内高校	25名
9	R2.9.26	岩内高校 事務情報科	岩内高校	22名
10	R2.10.1	ポッポ食堂	島野集会所	5名
11	R2.10.2	テラカフェ	帰厚院	6名
12	R2.10.15	子育て世代	岩内町役場	5名
13	R2.10.20	老人クラブ	老人福祉センター	8名
14	R2.11.11	岩内ロータリークラブ	帰厚院	9名
			計	115名

3 実施方法

ワークショップのツールとして、「Local Dialog」を使用しました。

まちの状態を5つのカテゴリーに分類し、69項目の対話カードを用いながら、町の姿を見える化していく中で、ワークショップ参加者が自分たちの地域にあったテーマ（課題）を見つけ、地域づくり戦略を導きだしました。



4 実施結果

①生活環境に対する意見

〈良いところ〉

- 自然が豊か。海もあって、山もあって良い環境だと思う。
- 公園、運動公園があり、元気に遊んでいる雰囲気がある。
- ノッタラインには助かっている。乗客も多い。
- 重大事件を聞かないので生活環境はよい。

〈改善が必要なところ〉

- ▲商業施設の少なさや医療体制に不安を感じる。
- ▲公共交通機関はもっと向上してほしいと思う。
- ▲運動公園は遊べる年齢層に限りがあり、兄弟で行くと遊べない子が出てきて不便。
- ▲自然環境は良いものの、町並みを見ると商店街はシャッター街で本当に残念。

②経済・産業に対する意見

〈良いところ〉

- 組合や協会がしっかりしてるため、連携が出来ているのではないかな。
- 個人事業者が多いイメージがあり、個人で頑張る意識を感じる。
- 岩内で仕事がないという話は個人的にあまり聞かない。特に女性がよく働いている地域だと思う。
- 海洋深層水、パークゴルフ場がある。

〈改善が必要なところ〉

- ▲目当ての観光スポットがない。目玉となる産業がない。
- ▲観光客は無理矢理連れてきているのが現状。ただ、資源は揃っている。生かす施設がない。
- ▲一次産業が盛り上がっていない。安全な食生活を考えたとき、もう少し一次産業を頑張る必要がある。
- ▲岩内町では働く場所が限られている。田舎はどこも同じ状況ではないか。

③健康・福祉に対する意見

〈良いところ〉

- 母親が民生委員をしているが、事細かに地域の実態を把握している。
- 学校開放があり、運動をしている人も多い。
- 健康テーマのサークル活動をやっていたり、ラジオ体操も長年続いている。
- ウォーキングクラブ等の活動が多い。

〈改善が必要なところ〉

- ▲サポートが必要な人（高齢、障がい、単身など）への体制は充実しているが、把握しているかは別。
- ▲医療施設のことを考えると、年をとったときに岩内に住み続けることはできない。
- ▲産婦人科がないのは致命的。
- ▲岩内に来たとき、医療と教育には困る町だという印象を受けた。

④子育て・教育に対する意見

〈良いところ〉

- どの地域に行っても、最低限のレベルが備わっている。ベースはあるので、本人が参加するかどうか。
- 海や山もあって環境が良いという移住者もいるので、環境は整っている。
- 子育てサークルなどがなければ、地域の人と関わる機会がなかった。

〈改善が必要なところ〉

- ▲学校の選択肢がゼロ。英会話教室もないし地域格差は広がる。医療制度もだが、環境を与えられない。
- ▲何かを学べる場がないから知識や技術を持つことができない。農業を学びたくても学べる場がない。
- ▲有料でいいので、子どもを1時間でも預かってくれる場所がほしい。
- 岩内が嫌いというわけではなく子どもには色々な経験をしてほしい。

⑤歴史・文化に対する意見

〈良いところ〉

- 文化芸術団体が秋口になると活動が活発になる。
- 複数の画家の美術館はあるが、木田金次郎1人で成立している美術館は少ないのすごいと感じる。
- 劇団活動が出来ているのはすごいと思う。
- 書道、合唱、絵画、日本舞踊、フラダンス等たくさんのサークルがある。

〈改善が必要なところ〉

- ▲アスパラも知らないし、ホップも知らない、食べさせたりビールを飲ませたりすることもない。魚も食べられないし、資源を生かし切れていない。
- ▲そもそも地域の文化などを知らない人多すぎる。
- ▲歴史や文化について、難しいことがわからない小学校の頃だけでなく、ある程度の年代になってから、もう一度学ぶ機会がほしい。
- ▲小樽運河のように「岩内はこういう町」というストーリーがあれば、人は来ると思う。

⑥地域コミュニティに対する意見

〈良いところ〉

- 自分の地域をなんとかしたいと思っている人は多いと思う。
- 町内会で普段から連絡体制がとれている。
- 町内会で月1回ランダムでグループを組んで、お茶会のような催しを行っている。
- 地元でみんないろんなことで助けてくれる。田舎の強みだと思う。

〈改善が必要なところ〉

- ▲他の地域にいた時は、みんなが参加できるようなイベントがもっとたくさんあった。
- ▲いろんな意味で偏る。年配が頑張っている。若手が反応するような仕組み作りが重要。
- ▲町内会活動では、若い人・後継者がいない。
- ▲団結している組合や団体のあるところにはとても入っていけない。団体のつながりが強いのは長所でもあると思うので、橋渡しの存在がいてほしい。

⑦その他

●定住意向

〈良いところ〉

- 岩内に戻って来たくないという人はいない。だから、愛着、誇りはあるのではないかな。
- 町の中にいる人は満足している。満足していなければ出て行くはず。
- 高齢の親を子どもが都会へ引き取るケースがあるが、多くの場合岩内に残りたがる。
- 一度町を出てからもう一度戻ってきたい。

〈改善が必要なところ〉

- ▲町を離れる人が多い。仕事がない、やりたい仕事がない。
- ▲住みやすいが、最後まで住み続けるかという点で違う。
- ▲自然も豊かで岩内は好きだが、就職面を考えるとこれからも長く住みたいとは言いがたい。
- ▲高校を出た後、就職先が地域にない。

●行政

〈良いところ〉

- 札幌に比べると個人の顔がわかる時点で近い。
- 親身になってくれる人はいる。
- 関わらない人も多いけど、それぞれの分野にエキスパートはいると思う。
- 広報はみんな見ている。うまく活用してほしい。

〈改善が必要なところ〉

- ▲特定の人がやっているからやらざるを得ない。巻き込むより巻き込まれている感。
- ▲役場の人々が地域をどうしようと思っているか、地域について考えている人が何人いるかが大事だと思う。
- ▲組織単位になるとレスポンスが悪くなる。
- ▲最近の役場はクレームを恐れて何もしない風潮がある。愛着を育てるためにももう少し何かすべきでは。

●その他

〈良いところ〉

- 「岩内なんか」という人に限って岩内を批判すると怒る。愛着、誇りがある人は多いと思う。
- いいことも悪いことも気になる。昔から住んでいることでの愛着。
- 岩内のことをけなされると嫌な気持ちになったことがあった。札幌では感じなかった。
- 自分が結婚して子どもを生んだ町だから、この子の出身地はここになるから愛着も湧く。

〈改善が必要なところ〉

- ▲ビジョンを持って仕事をしている人が少ない。起業家が少ない。ロボット的な事務作業をやると早いけど、いざビジョンを求めると何も出来ない人が多い。
- ▲スキルを持っている人は多いが、生かしている人は少ない。発表している人が少ない。
- 地域に住んでいる人が幸せに感じる事が何よりも大切。人の活力は地域の活性化に強く関わる。
まずは人を育てることが大切だと思う。
- 人口の増減ばかりが話題となりがちだが、住人が誇りや愛着を持つことが大事だ。
- 愛着や誇りは「持ちなさい」と言われて持つものではないと思う。
- 個々に火の付いている人材はたくさんいる。うまく息を合わせて大きな火にして動いて行きたい。

立地・地勢

太字は報告書に記載している内容です

☐	海もあって、山もあって良い環境だと思う。
☐	自然豊かだいい。
☐	泊原発という特殊な立地性の影響は大きい。（防災情報等を入手しやすい）
☐	他の地域と比べると、自然と触れ合う機会はある。 海に行って魚釣り。山へ行って登山。山菜採り。
☐	都会で働いていた頃は仕事でリラックスできなかった。岩内は自然に囲まれているのは大きい。
☐	海も山もあって食べ物もおいしい。近隣町村に核のゴミが来たらちょっと考えてしまう。

生活環境

☐	札幌にいたときは空を見る余裕すらなかった。岩内に来てから好きな風景の写真を撮ったりする
☐	病院・学校など全て備わっている。
☐	防災無線があるし、防災マップを配っている
☐	気候も安定しているし、生活という面で言っても満足していると思う。
☐	公園、運動公園があり、元気に遊んでいる雰囲気がある。
☐	ブックスタートのようなボランティアの場も自分にとっては心が安らぐ場である。
☐	治安の悪さを感じるのはせいぜい泥棒くらい。
☐	ノットラインには助かっている。乗っている人も多い。
☐	重大事件を聞かないので生活環境はよい。
☐	運動公園で小さい子どもが遊んでいるのをよく見かける。自分もたまに遊ぶ。
☐	空気はきれいだし、水環境もいい。ただ原発だけが心配。
☐	商店街はシャッター街だけど、山にはキャンプ場もあり、自然は豊かだと思う
☐	スキーや海にすぐ行ける。
☐	ものすごく不快に感じることはない。たまに風向きで生臭いくらい。
☒	商業施設の少なさや医療体制に不安を感じる。
☒	お風呂のない団地に住んでいる人がおり、暮らしづらい面もある。
☒	交通安全に取り組んでいる方が概ね高齢。同じ人がずっとやっている。
☒	公共施設の一部はバリアフリーだが、民間施設は整っていない。
☒	車が通るだけで家がゆれるぐらい振動が大きい。
☒	公共交通機関はもっと向上して欲しいと思う。
☒	泊から岩内に通っているが、土日はバスも減便してかなり不便。
☒	岩内は環境が良いが、住んでいる人は幸せなことに気づいていない
☒	岩内町に限らず全体的な雇用等を考えると満足した生活は難しそう。
☒	岩内は小さい子ども遊べるちょうどいい公園が無い。ブランコももう片付けられている。
☒	運動公園は遊べる年齢層に限りがあり、兄弟で行くと遊べない子が出てきて不便。
☒	子どもが気軽に水遊びできる場所がない。
☒	引っ越しをして、家賃の高さを感じた。妥協して暮らすしかない。
☒	水洗トイレじゃない。
☒	自然環境は良いものの、まちなみを見ると商店街はシャッター街で本当に残念

経済・産業

太字は報告書に記載している内容です

○	組合や協会がしっかりしているため、連携は出来ているのではないか。
○	個人事業者が多いイメージがあり、個人で頑張る意識があるのでやりがいを感じているのではないか。
○	岩内で仕事が無いという話はあまり聞かない。特に女性がよく働いている地域だと思う。
○	海洋深層水、パークゴルフ場がある。
○	吉田蒲鉾・村本テント・石塚水産などがある。道の駅などで一口マルシェみたいなのをやってもいいのでは。
×	若い人やUターン組の仕事がない。
×	たくさん特産品はあるが、町のスーパー、商店街とかどこで売っているかわからない。
×	仕事の選択肢が少ない。
×	力関係が顕著に出ている。職種は違うのにピラミッドの様な構図が見受けられる。
×	起業や起業家の誘致がなかなか増えない
×	観光客が増えてはいるが、それについて行けていない感じがする
×	やりがいとかでは無く、今を生きている人たちが現実にいる。特に岩内町は生活困窮者が多いのではないか。
×	目当ての観光スポットがない。
×	観光客は無理矢理連れてきているのが現状。ただし資源は揃っていると思う。それを生かす施設がない。
×	チャンス、きっかけがない。モノはあるけれどほったらかしている状態。
×	この辺での高校生の就職先は、共和の住友国富電子や介護施設くらいしか無いと聞いている。
×	産業が廃れていっている。土地を住宅にするのもいいけど、今まであった産業は生かすべきでは。
×	一次産業が盛り上がっていない。安全な食生活を考えたとき、もう少し一次産業を頑張る必要があるのでは。
×	岩内町には地場産業は何があるのか。目玉となる産業が無い。
×	岩内町では働く場が限られている。田舎はどこも同じ状況ではないか。
×	シャッター街が目立つ。
×	不定期労働者が多い。転職を繰り返している。
×	今の人は汚い仕事をやりたがらない。水産加工場も全員が高齢者。みんな生活のために必死。
×	若者がどんどん出て行っているのは、希望する働き方がないから
×	倶知安、二セコと違い、事業を興そうとする人が少ない。
×	農業や漁業ではない就職を考えると、みんな都会に行ってしまう。
×	空き店舗で期間限定ショップを大丸などでやってるように開催しては。町への出店や移住のきっかけになるかもしれない。
×	どこにも力が入っていると感じない。飛び抜けているところが無く、中途半端。
×	自然・産業は活かしていないと思う。
	働き手のいない農家や、そのほか高齢者が働く場に、高校生のボランティアを派遣する取り組みがあれば良いと思う

健康・福祉

太字は報告書に記載している内容です

○	母親が民生委員をやっているが、事細かに地域の実態を把握している。
○	学校開放があり、運動している人も多い。
○	健康テーマのサークル活動をやっていたり、ラジオ体操も長年続いている。
○	高齢者がたくさんいるということは健康なのだと思う。
○	ウォーキングクラブとか、活動が多い。好きな畑いじりもできている。
○	共和町みたいなトレーニングルームがほしい。
○	いきいき体操は週1くらいでやってほしい。
×	サポートが必要な人（高齢・障がい・単身など）への体制は充実しているが、把握しているかは別。
×	医療施設の事を考えると年をとった時に岩内に住み続けることは出来ない。
×	医者が居ないなど、通院についてはネックな部分が多い。
×	健康の意識付けが出来る様な場所がほしい。
×	移住者から「年をとってからが心配だ」という声を聞く。
×	いろんなサークルはあるが、健康づくりのために特化したものはない。
×	生活保護受給者や高齢者が多い、仕事に満足に取り組めている人がそもそも少ないのでは。
×	病院は小樽・札幌に行く人が多い。
×	産婦人科が無いのは致命的だ。
×	岩内にきたとき、医療と教育には困る町だという印象を受けた
×	病院が高齢者の集まりの場になっている。地域交流センターなどを集まりの場にしては。高齢者は病院以外にも行くべき。
×	病院が少ない。建物も古そう。
	高齢者や障がい者をサポートする施設はあるが、知られていない。

子育て・教育

○	どの地域にいても最低限のレベルが備わっている。ベースはあるので、本人が参加するかどうか。
○	海や山もあって環境がいいという移住者もいるので環境は整っている。
○	子育てサークルなどが無ければ、地域の人と関わる機会がなかった。
×	家庭環境が悪い子どもが多い気がする。
×	学校の選択肢が少ない。
×	図書室はあるが小さい。
×	就職となると札幌へ、進学となっても岩内から出る。
×	札幌ではサテライトで勉強・仕事が出来様な環境がある。
×	学校の選択肢がゼロ。英会話教室もないし、地域格差は広がる。医療制度もだが、環境を与えられない。
×	何かを学べる場がないから知識や技術を持つことができない。農業を学びたくても学べる場がない。
×	高校で料理の講師など呼んで学べる環境にするといいのでは。
×	子どもは幸せそうじゃない。忙しすぎる。
×	スポーツも勉強も選択肢が少なすぎる。
×	保育所や幼稚園に上がる前の子どもが行く場所が限られている。
×	有料でいいので、子どもを1時間でも預かってくれる場所がほしい。
	岩内が嫌いというわけではなく、子どもには町外に出て色々な経験をしてほしい。
	厚真町のようにおむつを捨てるゴミ袋をもらえたり、共和町のようなワクチン接種の補助などがあれば、子育てをここでしたいという気持ちになる。
	運動公園は野球、テニス、サッカーもできる。充実した施設だと思うので、もっと宣伝してもいい。
	子供が元気であることが、ひいては高齢者の幸せ、町の誇りに繋がっていくのではないかな。

歴史文化

太字は報告書に記載している内容です

○	サークル活動が多い。
○	後志管内で特に岩内はすごいと感じる。
○	習い事を掛け持ちしている人が多い。
○	文化芸術団体が秋口になると活動が活発になる。
○	複数の画家の美術館はあるが、木田金次郎一人の美術家で成り立っている美術館は少ないので、 凄いと感じる。
○	文化・歴史を大切にしている。
○	文化センターで岩高の文化部の発表をよくやっている
○	ばしふいっくびいなす寄港時、太鼓局が歓迎セレモニーで演奏した。
○	劇団活動ができていのはすごいと思う
○	書道、合唱、絵画、日本舞踊、フラダンス等たくさんのサークルがある
○	美術館や中高生の美術展などがある。住むまでは知らなかったが、絵に力を入れている町だという 印象がある。
○	俳句は伝統ある文化として守られている
×	呼ぶには弱いし、行くにも弱い。周知も弱い。わざわざ訪れるか疑問。
×	アスバラも知らないし、ホップも知らない。食べさせたり、ビール飲ませたりすることもない。 魚も食べれない。北緯さんのみ。全く生かし切れていない。
×	そもそも地域の文化などを知らない人が多すぎる。
×	競歩遠足が通行する車両からのクレームで廃止が検討されていると聞いた。
×	中高生は岩内の文化がわからない
×	岩内の歴史や文化について、難しいことがわからない小学校の頃だけでなく、今くらいの年頃に なってからももう一度学ぶ機会が欲しい。
×	小樽の運河のように、「岩内はこういう町」というストーリーがあれば人が来ると思う。
	祭りもただ地域で楽しむのではなくて、岩内外の人も巻き込む様な動きが必要である。
	文化センターをもっと活用してほしい。

地域コミュニティ

○	自分の地域を何とかしたいと思っている人は多いと思う。
○	誰かに相談したときに「こういう人がいるよ」とか、「こういう物があるよ」とパッと出てくるの は頼れる人がいるという意味ではないか。
○	全世代一斉での地域活動は少ないが、世代別で見るとある。
○	自分の町内会では災害時に誰が誰を助けに行くかを決めている。
○	厄年会など、カテゴリ毎の結びつきが強い。
○	町内会単位で、運上屋川の清掃などの活動がある。
○	町内会で普段から連絡体制が取れている。
○	学校としてクリーンナップ運動に参加している。
○	町内会で月1回程度ランダムでグループを組んでお茶会のような催しを行っている。
○	地元で、みんないろんな事で助けてくれる。田舎の強みだと思う。
○	老人会に入っていると、遊んで食べるだけではなく医療の情報も入ってきて安心である。
○	百人一首を週に一度子供から大人まで参加できるような活動をしている。こういう交流が大切。
×	他の地域にいた時はみんなが参加出来るようなイベントがもっと沢山あった。
×	特定の人達だけ盛り上がり、そこから波及させる取組はない。
×	いろんな意味で偏る。年配が頑張っている。若手が反応するような仕組み作りが重要。
×	町内会活動では、若い人、後継者がいない。
×	反対に、よそ者を受け付けない雰囲気がある。
×	団結している組合や団体のあるところにはとても入っていけない。団体の繋がりが強いのは長所 でもあると思う。橋渡しの存在がいてほしい。
×	町内会も活動が盛んではない。かといってやりたいわけでもない。
×	子どもが大きくなったとき、地域との繋がりが無くなるかもしれない。個人としての繋がりは意識 してやっていく必要があると感じている。

定住意向

太字は報告書に記載している内容です

○	外から来る人は住み続けたいと感じると思う。しかし、岩内在住の人はそう感じていない。
○	岩内に戻ってきたくないって言う人はいない。だから愛着、誇りはあるのではないか。
○	町の中にいる人は満足している。満足していなければ出て行くはず。
○	高齢の親を子供が都会へ引き取りに来るケースがあるが、多くの場合岩内に残りたがる。
○	一度町を出てからもう一度戻ってきたい。（岩高）
○	これから住み続けて、もっと住みよくしていきたいという気持ちもこめて
×	町を離れる人が多い。仕事がない、やりたい仕事が無い。
×	住みやすいが、最後まで住み続けるかという点で違う。
×	都会に出て行く人が多いのは満足していないからだと思う。
×	自然も豊かで岩内は好きだが、就職面を考えるとこれからも長く住みたいとは言い難い。
×	高校を出た後就職先が地域に無い。
	昔はノーで、岩内に帰ってくるのも嫌だったが、最近は好きになってきた。職種柄、岩内に居ながら町外の人とも仕事をする自由がある。その上でイエス。
	少子高齢化の促進を少しでも食い止めるため、若い人達が地元に残れるような仕組みを作るべき。

行政

○	札幌に比べると個人の顔がわかる時点で近い。
○	親身になってくれる人はいる
○	関わらない人も多いけど、それぞれの分野にエキスパートはいると思う。
○	広報はみんな見ている。上手く活用してほしい。
○	自分は教育委員会や社会福祉課とやりとりが多いため、しっかり情報共有できている
×	前を向いている人が少ないと感じる。
×	二セコ町は予算の査定に町民が入っているが岩内町はそういった工夫が足りないと感じる。
×	役場で働いている「人」は分かるのに、なかなか「意見」は言えない。（遠い存在になっている）
×	大体がやりましたよという実績づくりでしかない。「義務教育学校」についても住民とどこまでやりとりして進めていたのか。
×	興味がない人に対して巻き込みが出来ていない。
×	身近な人というのは気軽に相談できる人（場所）。そういう意味では身近さは無い。
×	特定の人がやっているからやらざるを得ない。巻き込むより巻き込まれている感。
×	町が町民に声を掛けるとき、やる気のある人、そして町にとって都合のいい意見しか言わない人ばかり選んでいる気がする。違う意見を言う人ももっと巻き込むべきだと思う。
×	役場の人々が地域をどうしようと思っているか、地域について考えている人が何人いるかが大事だと思う。
×	行政が地域課題をわかっている。
×	組織単位になるとレスポンスが悪くなる
×	町民を政策に巻き込むための工夫が進まないのは、本音として意見の募集を望んでいないからではないか。
×	最近の役場はクレームを恐れて何もしない風潮がある。愛着を育てるためにももう少し何かすべきでは。
×	HPに学童について、どれくらい働いていれば利用できるか、などの情報がなかった。はっきりわかればもっと働きたい母親が多いと思う。夏休みの預かりについても、もう少し詳しく載せてほしい。
	町長がやった仕事を広報などで発信してほしい。町長コラムなど。
	特に目的も無く立ち寄るほど気軽なイメージじゃない。

その他

太字は報告書に記載している内容です

○	「岩内なんか」という人に限って岩内を批判すると怒る。愛着、誇りがある人は多いと思う。
○	「岩内なんて」の裏側には張り合いを求めている。岩内は出来ると思っている人が多い。
○	いいことも悪いことも気になる。昔から住んでいることでの愛着。
○	岩内のことをけなされると嫌な気持ちになったことがあった。札幌では感じなかった。
○	自分が結婚して子どもを産んだ町だから。この子の出身地はここになるから愛着もわく。
×	外から見たら素敵な町なのに住んでいる人は気付いていない。魅力を活かしきれていない。
×	愛着はあるが商店街がシャッター街となっている状況を見ると誇りがあるとは言えない。
×	生まれたときから岩内、最初から住んでいるのと感じ方が違う。今あるいいところになかなか気づけない。
×	ビジョンを持って仕事をしている人が少ない。起業家が少ない。ロボット的な事務作業をやる 早い、いざビジョンを求めると何も出来ない人が多い。
×	スキルを持っている人は多いが、生かしている人が少ない、発表している人が少ない。
	地域に住んでいる人が幸せに感じる事が何よりも大切。人の活力は地域の活性化に強く関わる。 まずは人を育てる事が大切だと思う。
	他から見える岩内町というのが今の岩内町にとってはとても大事。
	人口の増減ばかりが話題となりがちだが、住む人が誇りや愛着を持つことが大切だ。
	外国を旅してきて、子供や女性の元気な町が活気があるという印象だった。
	愛着や誇りは「持ちなさい」と言われて持つものではないと思う。
	町外に出ていない人は岩内の良さがわからないかもしれない。
	個々に火の付いている人材はたくさんいる。上手く息を合わせて、全体で大きな火にして動いて いきたい。

ビジョン・戦略

1	広く周知することも大事だが、ある程度ターゲットを絞った情報発信。
2	企業誘致、町内の様々な職種から情報・要望収集し、町外の企業とタイアップする。
3	地域に頼れる人を作るためには、人と人との繋がりが出来るようなコミュニティを増やしたり、グループを作ったりする事が必要。
4	地域パトロールの実施。
5	運動会期間のみノットラインに運動会専用路線の開設。お孫さんの運動会を楽しみにしている高齢者の方に対しても優しいし、地方から来る人にとっても田舎だけど交通機関がしっかりしている印象を与えられる。
6	趣味、サークル活動をもっと盛り上げ生活の質を高める。
7	「仕事は作るんだ」という根本的な考え方を広める風潮があっても良い。
8	一部の町で美しい町連合という施策がある。美しい町で無くてはならないため、町民意識を無理矢理にでも高める事が出来る。町の取組に気づいてもらうチャンスが町が作っていく。
9	クリーンアップ運動は年に1回だけで無く、2ヶ月に1回行うなど意識付けが大切。
10	学べる機会をもっと沢山与えるべき。
11	新たな道の駅を作る（地域外から訪れたいくなる）
12	いい学校の先生を呼ぶ（理想の子育て）
13	子ども向けの施設が足りない（理想の子育て）
14	海が見える公共温泉（幸せとを感じる）
15	行政と住民が過ごす共通の場所があればいい（役場カフェのようなもの）
16	余市では「夜のデイサービス」という高齢者が交流するイベントがある。
17	高齢者が経営するカフェを実現したい
18	キウイなど、新しい特産品を開発する。
19	多くのチャンス、トライ＆エラーを繰り返せる環境を与える。厚生園の子供を対象に料理教室などを行っているが、吸収力や成長が著しい。「成功体験」が大切。
20	自分自身が楽しかった経験を子供に示していく。
21	子供の活躍をもっと応援すべき。
22	岩内町をよく知るとい点から、「とりあえずやってみる」作戦。
23	食に関する取り組みが弱いと思うので、近隣町村でいうと倶知安やニセコでは、じゃがいもを使った創作料理や寿都だと海産物があるのに、岩内にはこれといった名物がないので、そういうところを取り組んでいければいい。
24	おじいちゃんおばあちゃんに定期的に会いに行く。2世帯住宅にして一緒に住む。
25	警察や町の人が協力して町内パトロールをする。
26	ユニクロをつくる。
27	岩宇交流プログラムなどにもっと参加する。
28	困っている時に声を掛け合いやすくする前段階として、日頃からあいさつなどを行う。
29	スキー場リゾート計画を進めればスキー以外でもにぎわいが出る。
30	行事などを多く行いお金が入れば、環境の整備ができると思う。

31	無印良品、ニトリ、マクドナルド、ゲームセンターといった若者向けのお店を誘致する
32	雑貨屋さんであったり、岩内にない新しいお店をオープンすれば、もっと住み続けたいと思うし、そこで新たな雇用が生まれ、生活に満足できる人が増えると思う
33	車いす用のスロープを整備する
34	ノッタラインを通学や通院に活用するために、停留所を増やして、きめ細かな路線網を形成する
35	働く場所がないから、ゆとりがなくなる。もっと働く場を増やすような取り組みを進めてみては
36	サークル同士の交流をもっと作るべき。そのために、別サークル同士が協力して何かイベントを行ってみてはどうか。（別のコーラスサークルと一緒にコラボして発表する等）
37	小さい子以外の子が遊べる、集まれる場所が必要。道の駅・たら丸市場にマルシェなど。
38	文化センターホワイエを勉強・雑談スペースとして解放する。
39	子どもたちに色々なことに興味を持たせる。色々な選択肢を見せる。
40	学校で講演など増やしてほしい。子どもたちが求める情報じゃなく、新しい情報を提供する。
41	道の駅は今のままではもったいない。改装した上で、農家や飲食店や雑貨屋などのやる気のある人が出品できたり、遊び場の無い中高生が集まれるスペースになってほしい。
42	有料でいいので、子どもを預けやすい仕組みが欲しい。無償だと頼みにくい。
43	障がいについて、子どもに理解を促すような教育をしてほしい。
44	マリンパーク、文化センター、集会所を使い子供から大人まで世代を超えて楽しめる場所を作る。
45	サークルを個々ではなく連動させ、「文化センターに来たら何でも出来るよね」となるようにサークル活動も一か所に集結させる。
46	ポイント制度を設けて、サークルに参加したらポイントを付与し、そのポイントで何かを購入できるようにする。
47	地域のつながりを作る方法として、民生委員をやっていた頃、自分の担当地区内の方々全てに定期的にお手紙を出した。こうした地道な活動が必要だと思う
48	花いっぱい運動を通して、住民が地域の活動やまちづくりに参加し合う地域にしてほしい。若い人たちがもっと参加できるよう、声かけをする
49	元気な年寄りがどう団結して、まちづくりに取り組むかで変わってくる。老人クラブの会員を増やして、コミュニティを作り、他の団体とも連携できる体制づくりに努める。